

生物多様性及び自然の寄与に係るビジネスの影響と依存度に関する 方法論評価のためのスコーピング報告書概要

- ・ 決議IPBES-7/1/にて実施が決定され、初期スコーピング報告（IPBES/7/6付属書IIセクションIV）が示されていた。
- ・ IPBES9にて「生物多様性と自然の寄与に対するビジネスの影響と依存度に関する方法論的評価のためのスコーピング報告書」が決議された。以下その概要を示す。

目的

- ・ **方法論的評価**として、生物多様性2050年ビジョン等の生物多様性の諸目標を達成に向けたビジネスの行動を支援するための**知識基盤を強化**。
- ・ ビジネスや金融機関による生物多様性への**依存度（dependencies）**と**影響（Impacts）**を分類・評価。

1章：背景

評価の目的、本評価と他のIPBES評価との関連性や、生物多様性に係る諸目標との関係性を議論。また、評価の対象となるビジネスの定義を与え、ビジネスセクターの類型を提示する。

2章：ビジネスの生物多様性への依存度

ビジネスの生物多様性・自然の寄与への依存度を評価するための既存の手法のレビュー。ビジネスの種類や規模に応じた生物多様性への依存のあり方を類型化。

3章：ビジネスの生物多様性への影響

ビジネスの生物多様性・自然の寄与への影響を評価するための既存の手法のレビュー。ビジネスの種類や規模に応じた生物多様性への影響のあり方を類型化。

4章：生物多様性への依存度と影響を計測するための**枠組、指標、ツール**

ビジネスの依存度・影響の説明に係る枠組、基準、指標、モデル、データ、ツールを含む**様々な測定手法（Approaches for measurement）**を評価。様々な測定手法が、2章、3章で特定された課題をどのように記述するかを評価する他、データギャップ等の課題やIPBES概念枠組との関係も検討。

5章：変化の主要アクターとしてのビジネス：ビジネスによる行動のオプション

生物多様性2050年ビジョン達成に向けたビジネスの役割と責任について記述。各セクターのビジネスが行動を起こすにあたっての動機や、ビジネスにとっての課題・機会について述べる。また、4章で議論した依存度と影響に係る測定手法をビジネスが使用するにあたっての考えられる選択肢を説明。

6章：ビジネスを可能にする環境の創造：政府、金融セクター、市民社会による行動のオプション

政府、金融セクター、市民社会、地域社会、先住民族などが、ビジネスの行動を促進・評価するために依存度と影響の尺度を用いる方法を説明。

今後

- ・ 本評価はファストトラック（2年間で評価を実施する簡略手続）で実施、2022年後半に専門家の選定、2023年前半に執筆開始、IPBES12（2025年後半）で採択、発表予定。